

令和6年度第3回江南市廃棄物減量等推進協議会 会議録(概要)

●日時 令和7年1月31日(金) 午後2時00分～午後3時30分

●場所 江南市役所 3階 第3委員会室

●出席委員(20名)

委員長 石井 進	委員 森田 英守
委員 河合 莊太郎	委員 高橋 正博
委員 佐橋 美佐子	委員 多湖 直希
委員 古田 みちよ	委員 安藤 健次
委員 柴田 広美	委員 尾関 義久
委員 岡田 吉次	委員 森 ケイ子
委員 柴田 正美	委員 早川 光明
委員 佐合 毅宏	委員 青山 稔
委員 梅本 孝哉	委員 安藤 晴通
委員 尾関 奈緒美	委員 黒岩 弘子

●欠席委員(5名)

委員 佐々木 聡	委員 中西 健仁
委員 秦 公輝	委員 古田 一二三
委員 土屋 匡史	

●事務局

環境課 課長 相京 政樹
環境課 主幹 稲波 克純
環境課 主査 牛尾 和司
環境課 主事 石塚 建伍

●会議経過

開 会

●会長

本日は、「令和6年度第3回江南市廃棄物減量等推進協議会」を開催しましたところ、大変お忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

江南市廃棄物減量等推進協議会の会議は、一般の方にも公開しております。本日は傍聴を希望する方がお見えになります。

「江南市審議会等の設置及び運営に関する指針」第7条第2項の規定により、傍聴に関して必要な事項は、会長が会議に諮って定めることとなっておりますので、委員の皆様にお諮りします。

会議の傍聴に関して異議のある方はいらっしゃいますか。

<異議なしの声あり>

異議なしとのことですので、傍聴人の入室を許可します。

事務局は対応をお願いします。

●会長

それでは議事に入りたいと思います。

議題①「ごみ処理基本計画について」、事務局より説明をお願いします。

<事務局説明>

事務局より説明がありましたが、ご意見、ご質問等がございましたら、ご発言をお願いします。

●会長

確認したいのですが、本市における主要な課題として、ごみの減量化・資源化に向けた課題の中で、特に紙ごみや剪定枝・草の分別促進を課題として認識されているということですね。

●事務局

江南丹羽環境管理組合で、毎年、可燃ごみの組成分析を行っていますが、その中には紙やプラスチック、剪定枝・草が多く入っています。これらを分別することで可燃ごみをさらに減量していきたいという思いから、課題として挙げています。

●副会長

「本市における食品ロスの現況」とありますが、市民アンケートの結果では、食品ロスの認知度が96.4%、食品ロスを減らすために何らかの取組を行っている人の割合は92.5%と記載があります。前回の特別委員会の資料と数字が違っているのはなぜですか。

●事務局

前回の会議でお渡しした資料の数値は、速報値として記載しました。その後、精査した結果、今回の数値となりました。

●委員

パブリックコメントの意見の中で、資源ごみの収集体制の見直しについての意見が多く出ています。この協議会でも検討し続けてきましたが、今後、このようになるというはっきりした方向性が結局何も出ていないように見えます。もう少し、今の体制をどうするのかということについて真剣に検討しなければいけないのではないかと思います。パブリックコメントの No. 7にあるように、環境美化センターの跡地に分別処理センターを造り、大口町や扶桑町などの理解を得ながら、収集方法等を抜本的に変えていくべきなのではないでしょうか。

この基本計画に書き込む内容としては、なじまないかもしれませんが、江南市としてはパブリックコメントを見てどのような方針を検討しているのかお聞きしたいです。

●事務局

ご指摘のとおり、意見として大勢を占めたのは、資源ごみの収集体制の見直しに関するものでした。ごみ処理基本計画では、基本方針の1つに、「ごみの排出利便性の向上と循環資源の高度利用」を掲げており、「ごみの排出利便性の向上」という文言を加えました。市としても見直しの検討は続けていきます。

概要版で書ききれていない細かな部分については、本編で説明を加えていますが、「資源ごみの処理方法の見直し」という表記については、「資源ごみの収集及び処理方法の見直し」に変更させていただいております。

また、2年程前に一度、資源ごみの一部品目を袋で収集するという案を出しましたが、それが完全に立ち消えたというわけではなく、今は、袋収集を開始するにあたっての下地づくりとして、小さなことかもしれませんが、分別区分のスリム化として、トレイや発泡スチロールをプラスチ

ック製容器包装類と一緒に出せるようにする等、段階を踏みながら改善しているというのがこの2年だったと考えています。

今後も、袋収集を開始するという案を見直しの方向性として持ち合わせながら、他市町のやり方も参考にし、検討を進めていこうと考えています。

パブリックコメントの No. 7に記載のある、環境美化センターの跡地に分別処理センターを造れないかというご意見については、江南市の現在の財政状況や収集体制からみると、少し一足飛びの見直しではないかという気がしています。

令和10年度に新ごみ処理施設が供用開始になりますが、新ごみ処理施設で処理できるものは、共同で処理をしていく予定ですので、その中で分別のスリム化等ができるのであれば対応していきます。

●会長

続いて、議題②「ごみ処理の広域化について」、事務局より説明をお願いします。

<事務局説明>

ただ今、ごみ処理の広域化につきまして、事務局より説明がありましたが、ご意見、ご質問等がございましたら、ご発言をお願いします。

《質疑》

●会長

ご意見がありましたら、「3. その他」の説明の後に一括して時間を設けますので、そちらでご発言をお願いします。

3. その他について、事務局から何かあれば説明をお願いします。

<事務局説明>

- ・市指定可燃ごみ袋への有料広告掲載
- ・事業系ごみの出し方
- ・南部リサイクルステーション受け入れ品目の追加

- ・プラスチック製容器包装類の排出方法
- ・令和7・8年度の協議会公募委員の募集

ただ今、その他の事項につきまして、事務局より説明がありましたが、ご意見、ご質問等がございましたら、ご発言をお願いします。

●会長

今回の資料は、ごみ処理基本計画（案）となっておりますが、正式な計画となるのはいつですか。

●事務局

この後、内部の政策会議に諮り、議会への説明終了後に正式決定という流れになります。

●委員

パブリックコメントの中で、立ち当番をやりたくないというような意見が目立ちますが、私の町内では、若い方もご年配の方も当番をやっていただいている、ご年配の方は、ごみ当番を通じてみんなと話がしたいと言われます。私は、福祉の面や健康のために来てくれるならありがたいと思うし、若い方は年配の方の行動を見て、体調が大丈夫かどうか等を私たちに教えてくれます。私の町内は、意思疎通ができていかなと思います。

立ち当番に関して言えば、やりたくないという声はあるかと思いますが、それだけではなく、例えば、防災や老人福祉などの色々なことも含めて考えていくべきだと思います。

●事務局

ただ今、ご発言いただいたように、ごみ当番が地域のコミュニティとして必要だという声がある一方で、反対に廃止してほしいという声もあります。どちらの意見も否定せずにできる方法を模索しているところでもあるため、捉え方によっては、現状の見直しは中途半端に見えるかもしれません。

●会長

高齢化が進むと独居老人も増えてきます。地域の共同体、助け合う組織をどうやって作っていくかということにおいては、お互いに顔を知ることが一番大事だと思っています。

ただ、なかなか外へ出る機会が少ないので、資源ごみ当番の時に出てきていただいて、お互い顔を知ること、その人の事を心配する人が出てくるということはとても重要なことだと感じています。

●委員

先ほどの意見は、私も全くその通りだと思っていますが、ごみ当番のことだけではなく、いろいろ町内の行事があるので、どのようにコミュニケーションを図るかということを考えていますが、今の若い方は、そういう考えをあまりお持ちではないのだと思います。

幸いにもこの地域は、今のところは大きな災害がありません。いつ来るかわからない状況というのは住民も分かっていると思いますが、あまり切迫感がないです。そのため、区に入らないというような話があった時、災害が起こったときはどうするのかと聞いても、私は必要ないですという話になってしまいます。そのようなところで、我々の世代と若い世代との考え方のギャップがあるように思います。

また、話は変わりますが、今年の1月からプラスチック製容器包装類は袋に入れたまま排出できるようになったことについて、今のところ、私の区では特に問題はありますが、もし市の方に意見や苦情が出ていれば教えていただきたいです。

●事務局

収集業者にも確認していますが、袋のまま出すという方はまだ少なく、今までとおり袋から出して排出されているというのが概ねの状況です。

意見としては、袋のまま出すと分別が乱れるのではないかという意見もありましたし、変更当初は、自分の地区では周知しないと宣言された区長さんもおみえになりました。トラブルがない

というよりは、あまり変化がないというのが現状です。

●委員

私の地区でも、袋から出して排出するという習慣がついている方が多数だと思いますが、立ち当番の方は袋から出さなくてもいいよと指導されているようです。プラスチック製容器包装類の量が少し増えたかなという感じはしますので、ひとつずつ見直しを積み上げていってほしいです。

今の分別の状況をみると、立ち当番は無くさない方が良くと思っています。ただ、立ち当番側もごみを出す側も、いかに負担を減らしていくかということは非常に重要だと思っているので、今回の収集方法の変更についても負担軽減に関する最初の一步ではないかと思っています。ぜひ、様々な工夫をして負担軽減に努めていただきたいと思います。

●事務局

一番の狙いとしては、立ち当番の負担軽減策として、袋の中身を出す作業をやらなくてもよいとしたところでした。

また、立ち当番が必要かどうかということの関連で、少し話はそれますが、災害があった時に災害廃棄物の集積所を設けないといけないということで、今、各自治体で仮置場の設置訓練を行うところが増えてきました。江南市も取り掛かりたいという思いがありますが、本当に仮置場を設置するという時には、いかに迅速に周知するかということが課題になってきます。

また、そのような時には、地域のコミュニティを最大限に活用させていただきたいと思っています。ごみ当番のみに限らず、地域の連絡体制というのが必要になってくるということと、仮に地域に仮置場を作ることになったとすると、そこには管理をする人がいた方が良くということが、被災した自治体からのメッセージとして出ています。仮置きでも分別が必要だということは大前提ですので、そういうことも踏まえながら、今後、どのように立ち当番をスリム化していくのかということについて、またこの場で協議を重ねて、分別の回数を減らすのか、品目を減らすのかなど、地域の資源ごみ集積場所の運用の仕方を検討していきたいと思っています。

●委員

今年度から新たに、資源ごみ収集容器設置・管理協力金が交付されることになり、地区によって世帯数とのバランスがとれていない等の意見が出ましたが、来年度の協力金の積算方法に変更はありませんか。

●事務局

来年度の当初予算としては、同じ積算方法で協力金の交付を予定しています。既存の制度として、世帯割で資源ごみ分別協力金を交付しているので、これとは別の名目で新たな協力金制度を創設したということをご理解をいただきたいと思っています。地区の集積場所数を基準としているので、集積場所を増やすということであれば、それに応じて積算はしていきます。

●委員

今回の議題の趣旨とは外れますが、以前の協議会で、かご型のカラス除けのネットの実証実験をするという話がありましたが、進捗状況を教えていただきたいです。

●事務局

来年度の区長会の時にまた改めてお知らせする予定ですが、現在、におい付きのネット、ふた付きのボックスタイプ、ふた無しのボックスタイプに既存のカラス除けネットを被せたものの3パターンで検証しています。におい付きのものは効果が見えにくいですが、ボックスタイプのもは使い勝手が良く、ボックスの中に収まるごみの量であれば効果が出ているので、ふた無しのボックスタイプのものについて、貸出しができるように準備を進めていきたいと思っています。

これは、別途予算をつけて購入するのではなく、以前、資源ごみ収集で使用していたペットボトルやトレイのボックススタンドを転用して貸し出すこととしているものです。

●会長

これもちまして、第3回江南市廃棄物減量等推進協議会を終了させていただきます。本日はご審議を賜りありがとうございました。